

第 1 回和東町まち・ひと・しごと創生推進会議	
<p>■日時 平成27年(2015年)6月30日(火曜日) 午後7時30分～</p> <p>■場所 和東町商工会館研修室</p> <p>■出席者 谷口(知)委員、中西委員、藤岡委員、深井委員、谷口(雅)委員、中島委員、中井委員、井上委員、吉田委員、田中委員、前川委員、藤木委員、松石委員、谷本委員(14名)、堀町長</p> <p>■欠席者 木村委員(1名)</p>	
1. 委嘱状の交付	
事務局	<p>本日は第1回和東町まち・ひと・しごと創生推進会議にお集まりいただき、ありがとうございます。本会議は和東町における人口減少対策及び地方創生の取組を推進する人口ビジョン、地方総合戦略の策定につきまして皆様のご意見をお伺いするための会議です。最後までよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、町長より委嘱状の交付をさせていただきます。</p>
堀町長	— 委嘱状の交付 —
事務局	<p>本日はあらかじめ木村委員の欠席のご連絡をいただいています。ご了承いただきたいと思えます。</p>
2. 町長あいさつ	
事務局	<p>改めまして、堀町長よりごあいさつ申し上げます。</p>
堀町長	<p>ただいま皆様方に推進会議の委員として委嘱をさせていただきました。和東町のまちづくりを進めていくうえで、本年の10月までに戦略を立てる必要があります。それぞれの立場でご活躍いただいている皆様方には、和東町についてさまざまな分析や検討をしていただきたいと思います。</p> <p>現代は、食べものでも健康に良いものより人間の口に合うもの、自然の恵みよりも人間の知識が優先されるような流れにあります。そういった流れは本当に良いことなのでしょうか。まちづくりに関しても同様ですが、健康であるということを考えなければならぬと思います。どのように健康なまちづくりを進めていくか、それには農山村の復権が重要だろうと考えています。和東町は恵まれた豊かな自然、農村空間を持っているわけですから、それを地域力としてこれからのまちづくりに発揮できないか。本会議では皆様方に色々な角度から議論をいただきながら、一つの方向にまとめていき、それをもって今回の戦略を策定させていただきたく考えております。皆様お忙しいこととは存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
3. 和東町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要領について	
事務局	<p>和東町まち・ひと・しごと創生推進会議設置条例の説明に先立ちまして、推進会議設置についてこれまでの経過をご説明をさせていただきます。昨年11月28日に「まち・ひと・しごと創生法」が公布されました。この法律では国・府・市町村が一体となって取り組むということで、「地方における安定した雇用の創出」「地方への新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える」「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」という4つの分野が設定されています。計画策定にあたりましては、産業界、行政機関、教育機関、金融機関等、広く意見が反映されなければならないということになっています。また、計画策定にあ</p>

	<p>たっては、5年後の基本目標を設定し、その目標に応じて達成度合を検証する必要があります。そういった経緯がございまして、和東町においても和東町まち・ひと・しごと創生推進会議を設置させていただき運びとなりました。</p> <p style="text-align: center;">－ 和東町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要領について説明 －</p> <p style="text-align: center;">資料 1</p>
4. 委員紹介	
事務局	<p>続きまして事務局から委員のご紹介をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">－ 各委員の紹介 －</p> <p style="text-align: center;">資料 2</p>
5. 座長の選出	
事務局	<p>和東町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要領第3条に基づきまして、座長を選出いたします。知識経験者をあてることとなっておりますので、谷口知弘委員に座長をお願いいたします。</p>
6. 座長あいさつ	
事務局	<p>それでは谷口座長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
座長	<p>私は実家が宇治田原町でして、和東町に通い出したのは3年前になりますが、「わづかまちづくりびと交流サロン」のワークショップの進行役としてお手伝いをさせていただいています。隣にこんなに面白い町があったのかと、これまでとてももったいないことをしていたような気持ちであります。外から見ると、和東町はそれほど魅力的な町です。そういう地域の魅力が活かされるような戦略が策定できればと考えています。町長からお話もありましたが、和東町では農山村の復権ということでこれまでもまちづくり、ひとづくり、仕事づくりを進めてこられていますので、今まで取り組んでこられたことの振り返り、それに加えて今日お集まりいただいた多様な分野の方々の知恵を活かして、和東町の20年後30年後を見据えた戦略をつくることができればと考えております。皆様ご協力のほどよろしくをお願いいたします。</p>
7. 議題	
①和東町人口ビジョン・総合戦略策定に関するスケジュールについて	
座長	<p>ここからは私の方で議事を進めさせていただきます。会議の公開については、設置要綱に基づいて公開させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>では和東町人口ビジョン・総合戦略策定に関するスケジュールについて、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">－ 和東町人口ビジョン・総合戦略策定に関するスケジュールについて説明 －</p> <p style="text-align: center;">資料 3</p>
座長	<p>ありがとうございます。ただいまの説明について何かご質問ございますでしょうか。</p>
委員	<p>1回の会議には何時間位を予定していますか。</p>
事務局	<p>2時間程度を予定しています。</p>
委員	<p>2時間を4回（会議の回数）で戦略はできるんですか。</p>
事務局	<p>ある程度のベースを庁内でつくったものを見ていただき、そちらに意見を加えていただいで進めていきたいと考えています。</p>

座長	スケジュールをみますと、庁内ワーキングというものがあって、そこでまず検討をしていただけるということで、そちらが非常に重要になってくるかと思えます。この場ではその意見をチェックしていただくことに加えてそれぞれの分野からアイデアを出していただければと思います。
事務局	資料につきましては事前にお示しさせていただくようにいたします。
②これまでの経緯について	
座長	続いて、これまでの経緯について事務局より説明をお願いします。
事務局 Nittoken	－ 和束町の人口現状分析資料について説明 － 資料 4
座長	数字がたくさん出てまいりましたが、いかがでしょうか。どのような所からでも構いませんので、ご質問等ございましたらお願いします。
委員	転入数というのはどういう基準で捉えられているんですか。
事務局	住民基本台帳上の数値となります。
委員	転入数は結構多いですが、来られた方がどこに住まれるかが問題ですね。
事務局	おそらくですが、元々和束町に住んでおられた方が、また戻ってこられるケースも多くあるのではないかと思います。本町には賃貸住宅がございませんので、そういった傾向があるのかと思います。
委員	基本的にこれまでの傾向や実績を分析されて、そういったことを踏まえて推計をされているということですが、工業団地や道路の建設といった大きい政策については度外視して分析をされているんですね。
事務局 Nittoken	はい。そういったところはこれからの課題になります。
座長	農業の労働生産性についてですが、和束町ではもっと高いのかと思っていたのですが、こちらの資料をみますと山城全体が案外低いですね。京都府の平均を押し上げているのはどの地域なのでしょう。
委員	中北部でしょうね。
委員	和束町でもお茶をしているところはもっと高いんじゃないでしょうか。
座長	京都府だとどこの市町村が高いのか分かりますか。
委員	おそらく久御山町など、値段の高いものを少ない人数で行っていると一人当たりの単価が上がってくるので、このグラフでは高くなるかと思えます。
委員	売上げの金額はどこから持ってきているんですか。
事務局 Nittoken	平成 24 年の経済センサスです。
座長	和束町では農業従事者も多いですし、この数字は非常に重要になってくるかと思えます。他にはいかがでしょうか。
委員	昼夜間の人口比率は分かりますか。
事務局 Nittoken	今回の資料には入っておりませんが、調べることは可能ですのでまた提出させていただきます。
座長	戦略を立てる上で将来の推計をどこに置くのかということについては、今から議論して

	いってもいいんですか。事務局としてはいかがですか。
事務局	社人研の推計である2060年の1,294人というのは厳しい数字ですので、出生率の上昇を図るためにはどのような戦略が必要かなど考えた上で、少しでも人口減少が抑えられるパターンで人口ビジョンを立てていきたいというのが事務局の考えです。
委員	人口は減っているけれども世帯数は変っていない。高齢者の世帯が増えているということですね。
事務局	そうですね。いかに子育てしやすい環境をつくるかということが大事かと思います。
委員	やはり道路、トンネルをつくってもらうことが重要ですね。
事務局	ハード面の政策を含めるとどのような人口ビジョンになるかということも合わせて考えることが大切かと思います。
委員	トンネルができてこちらへの交通が15分短縮すれば大きく変わると思います。
委員	逆に外から通いやすい、木津川市などから通う人が増えるということになり得ますね。
座長	重要なのは今回の推計では人口を右肩上がりに書いていないということです。以前の総合計画ではどこも人口が上昇するような推計を出していました。人口が減少していくということを前提に計画を作っていくことは非常に大事なことです。
事務局	人口が増えていくということはほとんど不可能かと思うので、いかに人口減少を抑制するかということを考えていかなければならないと考えております。
委員	日本の農村地域で出生率が上がっているところもありますよね。若い人と高齢者がともに暮らしている地域が底力を見せているという部分もあるかと思います。そういう成功事例に学ぶことも必要かと思います。
委員	群馬県の川上村というレタス一本でやっているところがあるんですが、そこでは大学で東京へ出ても、結婚して嫁さんを連れて帰ってくるので人口が減っていません。
座長	農業ですね。地域の成功事例を見ていこうというご提案がありましたので、今後進めていく上で検証していきたいと思います。この人口減少についてはこれまで目を背けられてきたところでもありますけれども、今後しっかり考えていかなければならないところがあります。
<b>③第1回庁内ワークショップの結果報告</b>	
座長	次に、具体的な戦略のアイデアも出ておりますので、第1回庁内ワークショップの結果報告をしていただきたいと思います。私は事前に打ち合わせをさせていただいて、見せていただいたんですが、やはり役場の方の視野に入らないことというのがあるな、という感想を持ちました。この計画では役場に任せるのではなく、住民も専門家も一緒に知恵を出していくということが大事かと思うので、さまざまなご意見いただければと思います。
事務局 Nittoken	— 第1回庁内ワークショップの結果について報告 — 資料5
座長	事務局で事前に参考として出されたSWOT分析（和束町の「強み」「弱み」（内部環境）、「機会」「脅威」（外部環境）から今後の戦略を考える手法）を元に、庁内の職員さんにそれぞれのテーマでグループに分かれて意見を出していただいたということですね。皆様にご確認いただいて、強みや弱みなどで抜けている部分や、注目した方が良い部分

	を出していただきたいと思います。いかがでしょうか。
委員	息子が宇治に勤めているんですが、トンネルができると和東町から通勤ができるし、和東町に住んで子育てもできるし、ということで期待しています。若い人が出会える雇用の場があれば、結婚や子育ての希望にもつながりますし、和東町でも茶摘みをしながら出会える場をつくるなどしても良いんじゃないかなと思います。
座長	職場と、職場とは別にもいわゆる婚活の場を積極的につくっていくというご意見ですね。
委員	私もトンネル化には希望を持っているんですが、できれば早い時期にさせていただきたいと考えています。和東町の特に湯船地域の方は子どもたちが中学校を出たら下宿させることが多いんです。湯船からは交通費も多くかかります。子どもたちの教育について不便であるから、外へ出ていくということもあるかと思いますので、トンネル化には期待を持っています。それからふるさと納税についてですが、和東町ではどのようなものを納税者にお渡ししているんですか。
事務局	金額に応じてお茶や、つくだ煮、チョコレートなど色々なものから選べるようになっていきます。
委員	そういったところが通常かと思うのですが、体験型のお礼というのはいかがでしょう。和東町に来て茶摘み体験をしてもらって製品を持って帰っていただくとか、一晩泊まっていたりなどして、より身近に和東町の良いところを体験として感じていただく、滞在型のお礼を出すとか、もっと多くのアイデアを出していければと思います。
事務局	ふるさと納税についてはリニューアルさせていただいて、寄付額が上がってきているところですが、ただ他ではもっと多くのふるさと納税をいただいているところもあるというのは承知しております。
委員	やはり成功例を参考に、和東らしいものをもっともっと出していくべきかと思います。最近テレビにもよく出していただいて、お客さんも増えているように聞きますが、やり方次第でもう少し何とかなる部分もあるんじゃないかと思いますので、皆さんと一緒に考えさせていただければと思います。
委員	和東茶をペットボトルにされるのはいかがでしょうか。
委員	ドリンク産業で難しいのは、つくった時のコストが大変高くなるということです。今の基盤をどのようにしていくか、JAさんと協力するのか。和東茶のイメージを上げることが缶のお茶をつくった時の目的でしたから、そういう意味では2年前の2倍以上の売り上げになっており、知名度は上がっています。一団体としてリスクを負って実行するというのは難しいので、和東町として、関係団体でどのように協力して本格的に取り組んでいくのかということかと思っています。
座長	ブランド戦略という意味で言うと、缶より瓶の方が良いのかもしれませんが、その辺りは目的も踏まえながら、検討、展開をされていかれたらと思います。
委員	親戚に高齢で夫婦暮らしをしている方がいるんですが、日常の買物などどうされてるかを聞いたら、お弁当を配達してもらおうのと、セブンイレブンで日用品は配達をもらっているということでした。和東町でもローソンさんや各商店でそういったサービスもしていただければと思うんですが。
委員	努力はしたんですが、お客さんの方で「少量だから気を使う」と返事されます。また、

	お孫さんが土曜日に帰ってきて一週間分の買物と一緒に行くのを楽しみにされている方もいます。
委員	お孫さんが来てくれる方はいいですが、親戚は子どもも孫も遠くに住んでいまして、本当に2人きりですので、配達是非常に助かっていると言っていました。
座長	これから独居や老老介護も増えてくると思いますので、そういったところでどうサービスを届けていくか、行政も一緒になって考えていく必要があるかと思えます。
委員	どこかの町で社協さんが車を提供して、ローソンさんが回っているところがありました。個人の商店さんに丸投げするのではなくて、そのように連携できる体制をつくれば可能かもしれませんね。
委員	できれば和東町内の商店で回るようにしてもらいたいですね。具体的にどうすればというのは分かりませんが。地産地消で和東町の野菜を使い、和東町の人作り、そこに和東町の商店さんが入れれば町も活性化するように思います。
委員	京都府の胡麻地域では駅に郵便局や喫茶店、商店があります。そこも過疎化が進んでいるんですが、地域で結成した胡麻地域振興会というNPOが軽トラを準備して「助かる号」として食品などの配達をしております、皆さん非常に喜んでます。その駅には郵便局の他に銀行のキャッシュディスペンサーもありますし、食事やコーヒーも安い値段で提供されていますし、談笑する場にもなっています。そういう拠点プラスサービスをつくっていく時に、担い手、誰がやるかということですね。
座長	アイデアや事例としては色々あるかと思いますが、課題として高齢者の買い物支援をどうしていくかということや、世代を超えた交流拠点、場合によっては都市機能の集約というところまでお話は出てまいりましたが、その辺りも今後検討が必要かと思えます。
委員	和東には薬屋がないので、買いに行く時に加茂まで行かないといけない。まずは薬局をつくってほしいですね。高齢者は買い物に遠いところまで行けませんから。
座長	ありがとうございます。 他に援農の取り組みで「ワツカナジカン」というのがあって、これも大切になってくるかと思えます。農業の担い手も高齢化してきておりますので、農業に関心のある若者に都市部から来てもらって、農繁期に手伝ってもらい、そこから移住者も出ています。そのように、皆さんご存知の活動で何かあれば教えていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。
委員	そういった取り組みを住民が知らないということが問題ですね。発信ができていないのではないのでしょうか。
委員	和東町といえばお茶ということで、どれくらいの規模でやっておられるのかと調べようとすると、役所にはそういった資料はあると思いますが、一つにまとまったものにはなっていないのかなと思います。お茶という売りを最大限に生かすために、そういった発信が必ずしもできていないのではないかと思います。
委員	私は今は木津ですが、その前には宇治にいて、宇治茶というのは宇治でつくったものだと思っていました。和東にきて初めて宇治茶というのは大多数は和東茶だということを知りました。良いものをつくっているのに、それが表に出ていないというのはどうなのかなと思いました。
委員	今は大体ネットで情報を出しますから、宇治茶を調べたら和東につながるような形を取

	らないといけないんじゃないかなと思います。
委員	私もお茶という強みを売りにしていくべきだと思いますが、確かに宇治茶と和東茶でまとまりがないというのが正直な感想です。JAとしても和東茶と協力ができていないと思いますが、ブランド名という話でいくと、宇治茶で推し進めるべきなのかなと思います。その主産地ということで和東町をアピールした方が良いかと思います。
委員	2年ほど前からやっと和東産宇治茶というのが出てきました。
座長	今宇治茶生産を世界遺産にという取り組みがされています。その路線で世界に打って出ようというということでいうと宇治茶という名前を出して、その中で主産地として和東のブランド力を高めていくというようなストーリーが描ければと考えたりするんですが、そういう意味では山城エリアでどう連携していくかといった視点も大事かと思います。
委員	宇治茶といっても宇治市には実際の茶園が少ないということもありますので、宇治茶をつくっているのは和東だということで、美しい茶畑景観とともにマスコミ等も活用して発信していったらどうかと思います。
座長	そういう意味では今はチャンスだと思いますね。
委員	私も宇治支店にいたことがございまして、お茶というのは生産農家さんだけでは成り立たないし、問屋さんのブレンドする力もあって、宇治茶として売ってもらっているという部分もやはりあるかと思いますが、一方で主産地ということも確かであって、宇治茶なのか和東茶なのかというのは難しいところだと思います。強みを生かすということは、結局はお金に結びつかないとダメなんじゃないか、強い産業をつくって儲かるようにすることが大事だと思います。そして弱みについては、大都市圏に比較的近いためすぐに外へ出て行ってしまふということがありますが、それをどのようにすれば良いかと考えると、やはり徹底的に田舎にこだわること、弱みを強みにすることです。今若い人ではシェアハウスをして山水で暮らしているなんていう話も聞きますし、もっと田舎らしさを出していくということも大事かなと思います。
座長	和東町の子どもたちをいかに定住させるかという一方で、田舎という環境のなかで暮らしたいという人にいかに移住してもらおうかということもこれから重要になってくるか 他にご意見はありますか。
委員	トンネル化については災害時の避難経路としての問題など色々ありまして、調査をいただいています。第2名神が開通した時につながらないといけないということで、開通に向けて取組が進められています。
委員	和東町の心臓となる路線は木津信楽線ですが、メインの入り口となる163号線からのカーブが狭くてロングトラックが入れなくなっています。今工事を進めてもらっていますが、完成すれば交通の流れも良くなって工場の誘致も可能になって雇用の場も広がるのではないかと思いますので、トンネルの開通と合わせて相乗効果を期待しています。
委員	交流人口を増やして定着していただくために、例えば観光ひとつとっても宿泊、特産品、体験など色んな要素があります。それらをつつひとつどう整備していくかというのが必要ですが、さまざまところで協調して和東のことを考えていくということをしなないとなかなか前に進まないのではないかと思います。

座長	<p>協調という言葉が出ましたが、南部では第 1 号の農家民泊もオープンされましたし、空家対策も進みつつあるところで、そこに町民が積極的に関わるのか、ノーというのか、その辺りも重要になってくるかと思います。</p>
委員	<p>和束での民泊の状況ですが、1 年前は 2、3 件でしたが、今は 30 件になっています。そして今度 8 月には合計 400 人程度のスウェーデンの子どもたちが泊まっていくことになっています。住民の関わり方も多くなってきています。</p>
座長	<p>その辺りが里山、農業という和束の魅力になってくるわけですが、そこをどのように生かしていくかというのが重要ですね。 皆さん他にご意見いかがでしょうか。</p>
委員	<p>色々な方法次第で地域は元気になる可能性があるというお話も出ましたし、これからも皆さんと知恵をしぼって考えてまいりたいと思います。</p>
委員	<p>やはり和束特産のお茶を生かして、いつか宇治茶を超えたいなと思っております。</p>
委員	<p>行政はこれまでまちづくりをされてきたと思いますので、次回その事例も含めてどの程度進んでいるのか教えていただきたいと思います。それとやはり安心して住めるところがないのが問題だと思います。また観光については町に観光課がないですよね。和束では皆さんが点と点でがんばっていらっしゃいますが、それを観光課で一つに把握して発信していかないといけないと思います。点と点を結ぶ役割がない現状が今に至っているのではないかと思います。</p>
座長	<p>観光については府内ではじめて「まちの公共員」が設置されて、観光専門の方が和束に来られますので、今後力を入れていこうとされているところかなと思います。</p>
委員	<p>茶農家ではつくることに精一杯ですので、松石委員や藤木委員に期待しております。PR していただきたいと思っております。</p>
委員	<p>私からは安定した雇用というところでアドバイスができるのかなと思うのですが、ハローワークの現状でいいますと、和束町で求人をいただいているのはお茶関係の仕事が大多数になります。ただお茶の仕事は茶摘みのシーズンだけの期間雇用になります。また茶摘みというのは、茶畑は美しく傍目にはきれいなんだけど、過酷な重労働ということで人が集まってこないということで相談に来られます。できましたら年中を通じたお茶に関わる仕事というのができれば、というのが一つ思うところです。また観光のお話が出てまいりましたが、茶源郷という言葉はこちらに来て初めて知りまして、この美しい茶畑景観を歩きながら見たりということはできないのかなと思いました。もうやっておられるのかもしれませんが、茶畑を歩く遊歩道を設置して観光客を誘導する、観光客が増えれば雇用も生まれますので、そこに人が集まってくるのではないかと思います。</p>
委員	<p>観光ガイドというのがありまして、今おっしゃったような茶畑を歩いたり、茶摘み体験を提供したりしています。</p>
委員	<p>和束町は私の印象では他の自治体に比べて早く取り組んでおられますし、皆さんの思いも強いと思います。先ほどもあったようにそれぞれの思いをつなげるということも必要かと思いますが、後は住民の方もみんなが同じ思い、同じベクトルで進むということも大事になるかと思います。</p>
委員	<p>働く場所、住む場所がなければ簡単には移住してくれないだろうし、観光も大事だと思</p>



	いますが、多世代で働けるような場所、雇用を作り出すのが大事だと思います。
座長	ありがとうございました。議論の尽きないところではございますが、時間もありませんので次の議題に進みたいと思います。
④次回の日程について	
座長	次回の日程について、事務局よりお願いいたします。
事務局	第2回委員会は8月上旬を予定しています。事務局案としましては8月4日を考えているのですがいかがでしょうか。遠くからお越しくださっている方、お仕事の都合等もあるかと存じますので、開催の時間帯についてもお検討いただければと思います。
座長	お仕事されている方は昼間の時間帯は厳しいかと思いますので、少し早めて7時からスタートでよろしいでしょうか。 では8月4日の7時からということで宜しく申し上げます。
事務局	では後日、資料は前もってお送りさせていただきます。次はより具体的な内容となる素案について検討していただきます。庁内ワーキングを7月24日に予定しておりますので、そちらで出た意見を集約して資料を作成することになるかと思います。委員の方のご提案も受けさせていただきます。
座長	それでは議事は終わりますので、事務局に進行をお返しします。
事務局	皆様さまざまなお意見いただきまして、誠にありがとうございました。今回の議論を踏まえて資料を作成させていただき、あらかじめ送付させていただきます。 本日はありがとうございました。

閉会 午後9時45分